

# 新しい公共の里住づくりミッション

# 「まちの駅」空間創造事業

～出会いと語らいの交流を促進する高島の北玄関～

湖西線時刻表

今津 →	マキノ	← 永原
9:26		9:50
10:51		10:50
11:51		11:50
12:51		12:50
13:51		13:50
14:51		14:50
15:51		15:50
16:51		16:50

高島市 マキノ物産会館  
営業時間 9時～17時30分  
JRダイヤの時間待ちや 公衆トイレ利用にも  
いらっしやいませ！ まちづくり物産品 PR販売コーナー

JRマキノ駅

R161

バス停 駅前広場

## 1. コミュニティビジネスによる ブランドづくりと担い手づくり



## 2. 訪れたい・滞在したい と思わせる地域間交流の 空間づくり



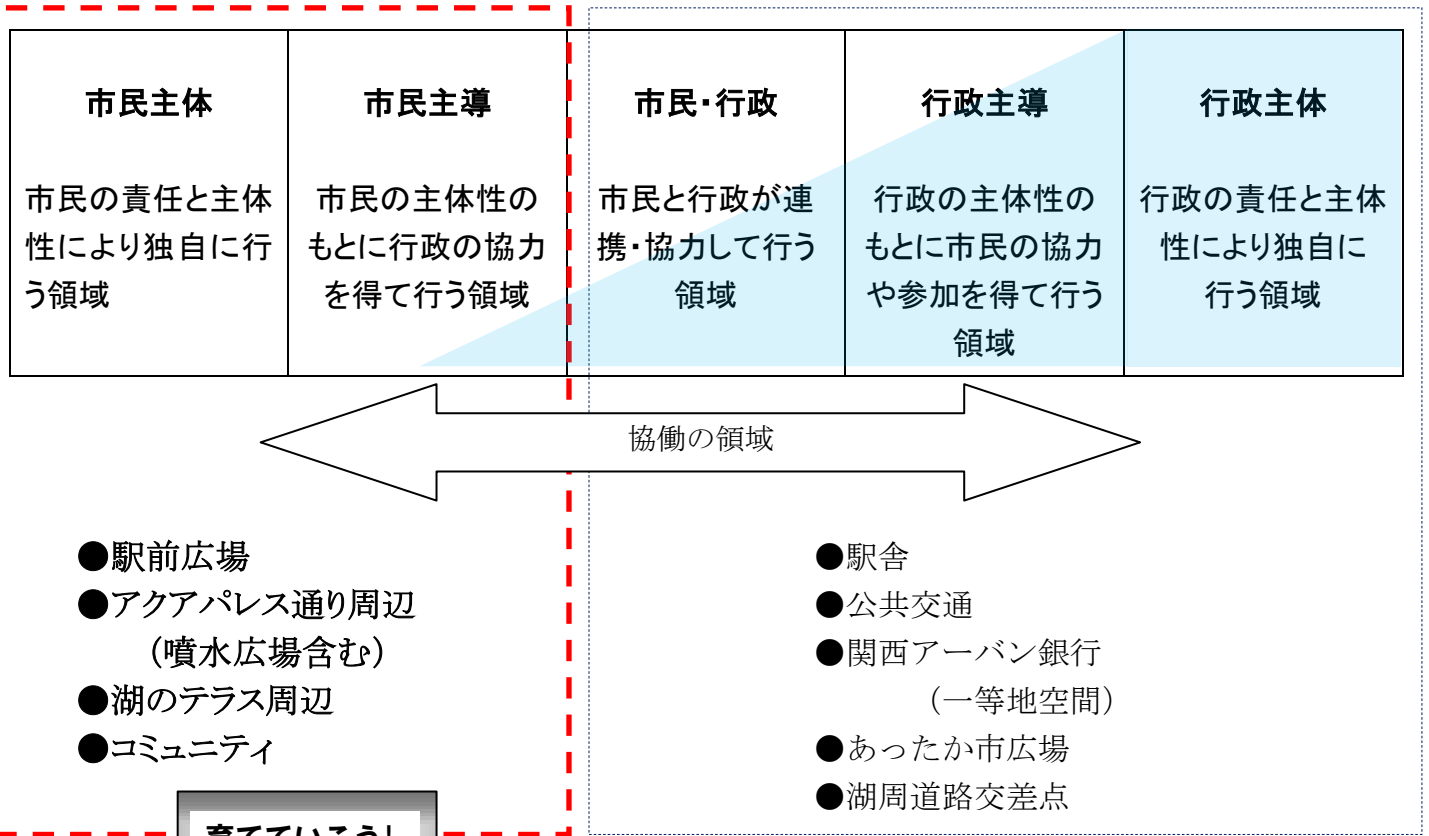
## 3. 減災コミュニティ空間づくり




～平成25年度高島市協働提案事業～  
一般社団法人めいどいんマキノ

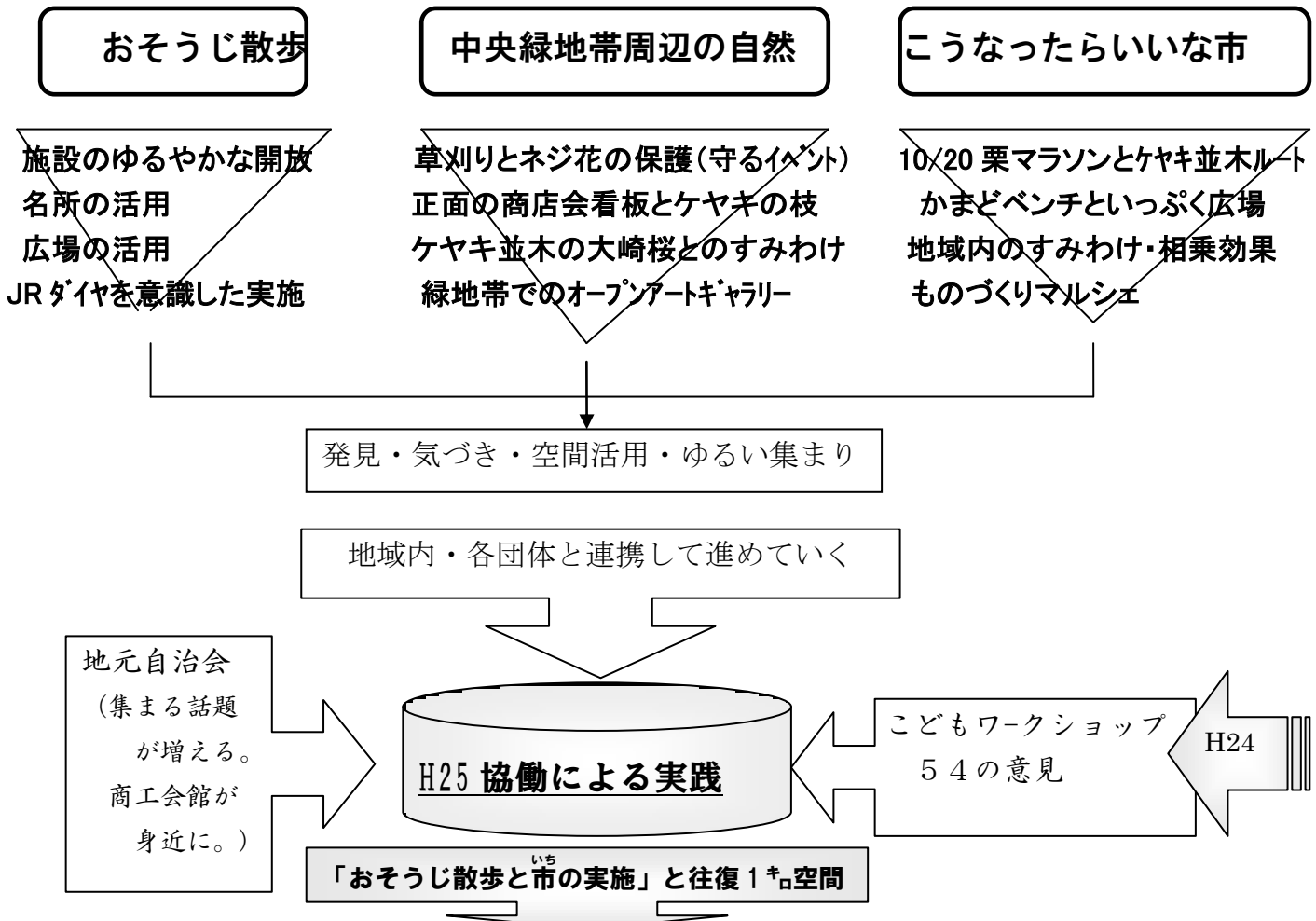


★平成24年度の「駅前空間創造ワークショップ」で住民主体・主導で実現可能なことのまとめ



★平成25年度 —また寄ってもらえるように—

なごんだ雰囲気づくり (出役や強制ではなく参加が出来る取組み)



# I. 地域資源を活かした交流と情報発信の場としての公共空間づくり

①まちづくり村おこしから育まれた物産品の交流販売と情報発信の機能（賑わい）



②JR ダイヤ待ちや WC 公衆利用場所としての休憩機能（安心）  
(コミュニティビジネスによる原資獲得とアンテナショップとしてのリピートファン獲得)



## II. 実現出来そうな実践を進める「駅前空間創造ワークショップ」

### ①ワークショップで実践のアイデア抽出

・7月5日（昨年度の振り返りと実現できそうなこと）



・8月6日「マキノ駅前がこうなったらいいなあ市」の計画



### ②7月26日「マキノ駅前夕涼みおそうじ散歩」



### ③10月20日「マキノ駅前がこうなったらいいなあ市」



④こどもカフェの場面づくり（地元中学生参画）

→マキノ駅前物産会館七夕フェア(7/7)

→マキノ駅前がこうなったらいいなあ市(10/20)



### III. 減災のコミュニティ空間づくり

①3月16日「マキノ駅前自治会防災訓練」と「かまどベンチ」を活用した一時避難所における減災協働空間の機能（安心安全）



自治会長の  
近藤で  
ございます!



## ※賑わいと安心の空間づくりを目指す

### コミュニティビジネスの広がりで見守りの空間創造

#### ①たかしま伝統産業のアンテナショップとして北玄関からの情報発信

(高島ちぢみ)



(近江扇子)



#### ②協働提案事業者間同士の連携構築 (ぎょうれつ本舗さん)



#### ③地元小中学生を対象とした学習塾開設を “こども110番のお家”機能を活かした視 点から事業提案者事務所のあるマキノ商 工センター定期利用へ

3/26「高島見守りネットワーク事業」協力事業者協定締結



#### ④地域 (地元自治会) の見守りカフェに 物産会館を定期利用化



▼=行政サイドのご協力による変化=

①山村集落を対象とした“交流軽トラ市”について、10月20日に開催の「マキノ駅前がこうなったらいいなあ市」に企画時、駅前中央緑地帯（ケヤキ並木 30m道路）を片側通行止めによる歩行者天国化として許可していただける。

（緑地帯ではグラウンドゴルフとクラフト市場に）



②10月20日に開催の「マキノ駅前がこうなったらいいなあ市」に来場客を繋ぐため「びわこ高島栗マラソン」参加者のシャトルバス乗降所を、昨年までの既設バス停乗降所からマキノ駅正面への臨時乗降所に変更していただける。



駅正面を  
乗降所に



③駅前交流公園のアミューズメントプラザに交流用ベンチが新設。

フットライトも修繕され、夕方から午後10時までライトアップ化されている。



協働に関わっていただいた駅前商店会からの自発的事業提案を受け

“ここへ行けば出会える・語り合える人と場面の往復1キョ空間”の創造

=変化の発生=

実現に向けて



良い話をもって  
きたんや。  
まあ話聞いて！  
(駅前商店会  
芦本会長)



小さいところから  
始めてみよう！  
そして失敗して  
課題を話し合おうや！  
(同 金谷副会長)

マキノ駅前 おさんぽ  
ランチバル  
参加店  
2014 4/26 (土)

¥800 (前売り ¥650)

前売りチケット  
取扱店



マキノ駅前 おさんぽ空間

景観を満喫しながら  
マキノ/サニービーズを巡る  
1時間のコース 全員集合  
おさんぽウォーキング

フラダンスショーや  
懐かしいレコード音楽  
を楽しみながら...  
おさんぽ市場  
物産会館 駅前公園

2014 4/26 (土)  
おさんぽ  
ランチバル

チケットのお支払は  
バル参加店 又は  
マキノ物産会館で！！

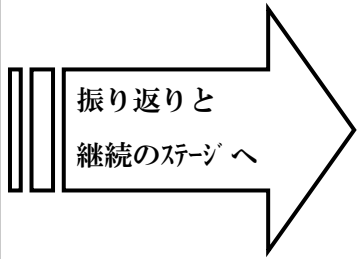
¥800 (前売り ¥650)

前売りチケット  
好評発売中

バルの楽しみ方

- ①バルチケットの購入  
3枚づつで1枚1メニュー、  
お好きなバルチケットの  
ご購入をおススメします。
- ②参加店からメニュー選び  
景観のバル参加店メニューを  
参考に、おコースをお楽しみ。
- ③バル参加店に入り  
バルチケットを1枚渡し、  
「バルメニュー(ください)」と  
お申し出ください。
- ④お店が選んでいたら  
バル仲間として乾杯、もしくは  
次のバルへお誘いなど、楽しい
- ⑤お腹がいっぱいなら  
チケットが使い切らな  
いときは、タイアートの  
メニューもあから大満足。
- ⑥使い終わった半券は  
お買い上げのお客さまに限り  
100円の金券として利用できます。  
※お持ち帰り
- ⑦参加できなかった前売りチケットは  
マキノ物産会館のお店でも50円の  
金券としてご利用いただけます。  
※5月6日まで、まっ新チケットのみ有効

前売りチケットは、数に限りがございます  
お買の際は、ご了承ください。





新 京 都 産 物

## マキノの特産 展示即売

高島 物産会館が新装開店



高島市マキノ町、JRマキノ駅前前のマキノ商工センター内の物産会館がこのほど、リニューアルオープンした。まちの活性化を願う、地元の農家や商店、住民団体などが新たに開発した特産品を主に展示即売している。16日は「父の日フェア」を催す。

従来は、工業製品や地酒など限られた商品を並べているだけで、販売もしていなかった。センターを管理運営するまちづくり団体「めいといんマキノ」が、沈滞している駅前をにぎわいのある空間にする取り組みの一環として、会館の有効活用を図ることにした。約100平方メートルのスペースには、地元産の茶葉を使った紅茶「まてい」や、特産化が進む健康野菜の「ヤーコン」が材料の「ヤーコンメン」、間伐材を利用した木炭「夢炭」など新商品がずらり。しょうゆなど伝統の産品も置かれ、合わせると20種類を超える。また、

マキノ町内の港町・海津の昭和初期の風景写真や鳥獣図も展示する。午前9時～午後7時。月曜休館。

「めいといんマキノ」の寺田秀明理事(51)は「センターを拠点にまちの活性化、さらに地域住民の絆づくりを進めたい」と話す。16日の父の日フェアでは、特産のピラマスを使ったコロッケやメンチカツを限定販売。ヨモギの足湯サービスも。正午～午後5時。めいといんマキノ ☎0740(20)1336 (広瀬哲裕)

記 紀 寄 14 廿 折 垂 性 は 里 任 記 ち 日 野 定 の っ 給 申 い 中 公 大

第3種郵便物認可

# 特産品満載 軽トラ集結

高島市の中山間地域の集落関係者が地元の特産品を軽トラックで持ち寄り販売、交流する「めいといんふるさと」交流軽トラ市」が20日、同市マキノ町のJRマキノ駅前で開かれた。

## 高島の9集落など初の合同市

同町のまちづくり団体「山村集落の活性化を目的に「めいといんマキノ」が、初めて企画。都市と農村の交流も兼ね、この日同町内で行われた「びわ湖高島栗マラソン」と開催日を合わせた。

軽トラ市には、地元マキノ町から浦、海津、上開田など7集落と、今津町や旧高島町からも2集落が参加、さらに中山間地域で活動する2団体が参加。米やみそ、冬瓜や里芋などの野菜、シジミ、木炭など各集落自慢の産品が軽トラの荷台などに並べられ、販売された。

うち上開田集落は、そばがきの名で一般に知られる「かいもち」を販売。この日の雨で冷えた体を温めようとマラソン帰りの人たちが訪れ熱々をほおぼった。集落間でも互いの産品を購入し合うなど交流を深めていた。

26日も道の駅マキノ追坂特設駐車場で午前10時から催される。(広瀬哲裕)

マラソン大会に合わせ 活性化へ交流

交流も兼ね、この日同町内で行われた「びわ湖高島栗マラソン」と開催日を合わせた。

軽トラ市には、地元マキノ町から浦、海津、上開田など7集落と、今津町や旧高島町からも2集落が参加、さらに中山間地域で活動する2団体が参加。米やみそ、冬瓜や里芋などの野菜、シジミ、木炭など各集落自慢の産品が軽トラの荷台などに並べられ、販売された。

(大津市におの浜・県立武道館) (キング大会) (京産新)

回 満 溜 り 参 中 た や